与話情浮世横櫛
榮久堂梓
二編上

於富与三

月下香徽

今様櫛

栄久堂板

遠くて近のは男女の中と少納言もひ玉ひけん

既ふ此巻の趣ハ月下老人も露ゑ〻ざるを富与三の

仇なり果ハきられと昊名さへかゝんさ縁のきれるゝて

めぐり逢瀬の浮沉その患難も時を得て後々ハ親の敵を討るせ

忠孝すゝ〻に譚さたふ初編をいぶ〻し処殊外看客のハ意ふ

叶ひ其表題も浮名横櫛急刷編とのたゞしと櫛の齒をゆける

如く書房の催促ゆゑ乗氣ふ筆を採しも櫛屋の

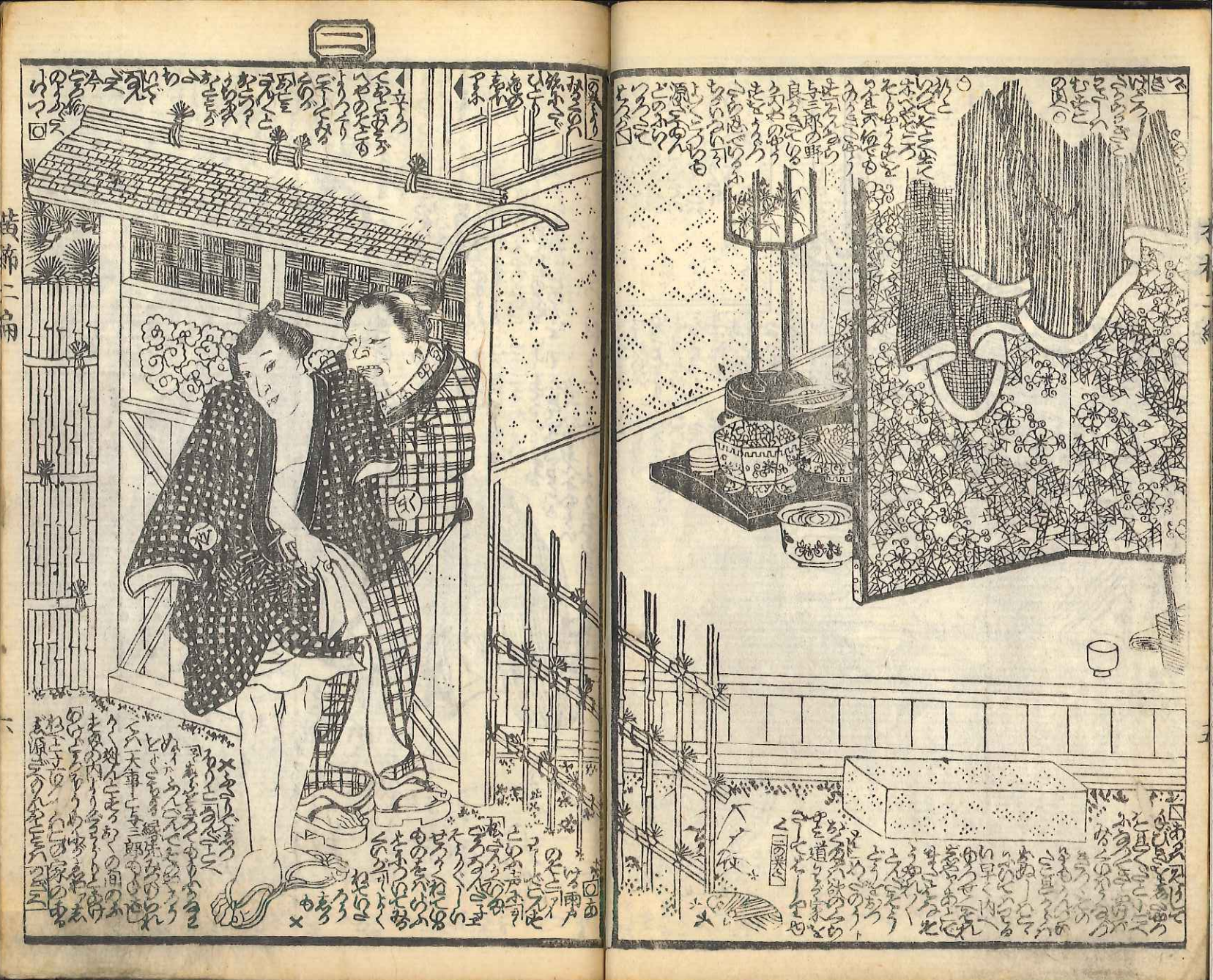
家号ふ因わる頃も卯月十三夜瓦燈の下の夜延ふまるゝ

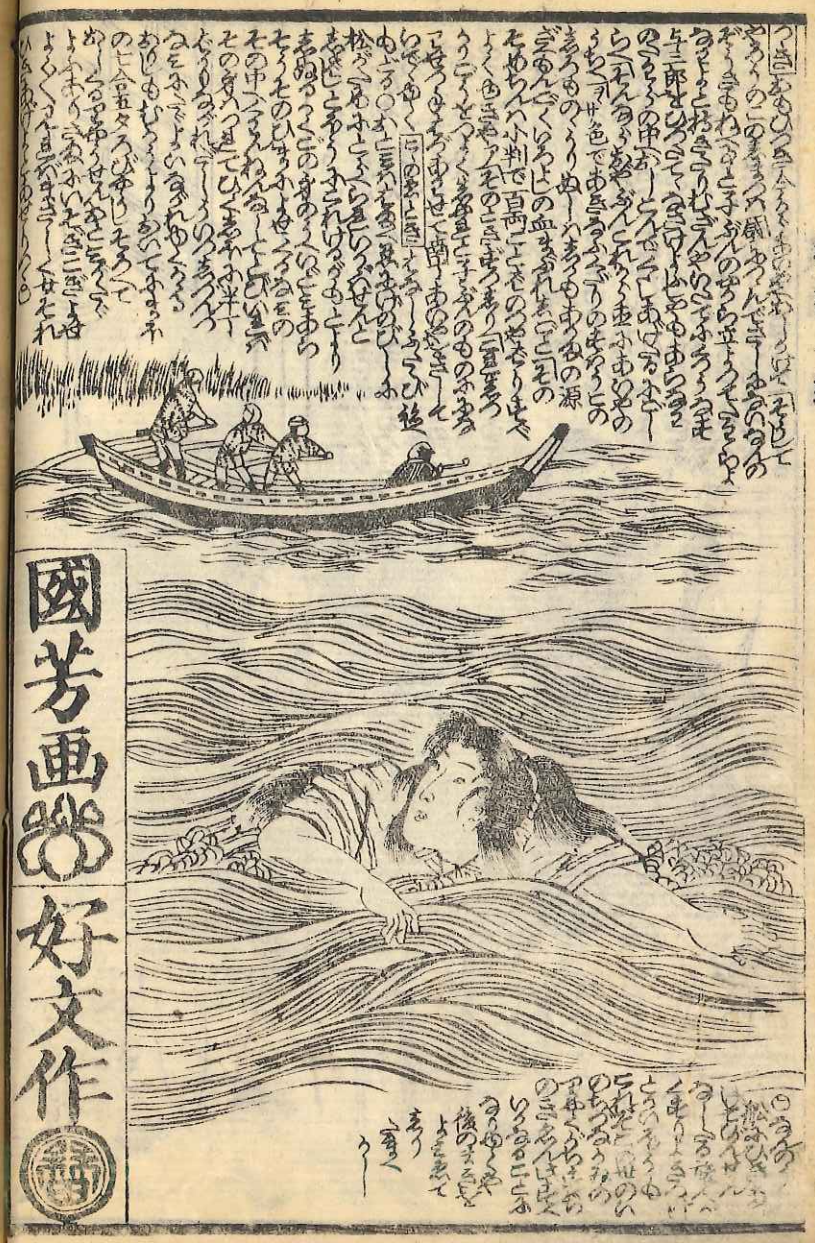
棋田舍好文

池内文庫蔵書

藍屋娘
お津留
下女
お作
伊豆屋
与五郎
蝙蝠の安
三編の
趣て上る
歩く

穂積の集人の妻
小笹
向疵の与三
藤番頭
井澄屋の支配人多左衛門
横ぐのお富





榮久堂刊行藏板略目

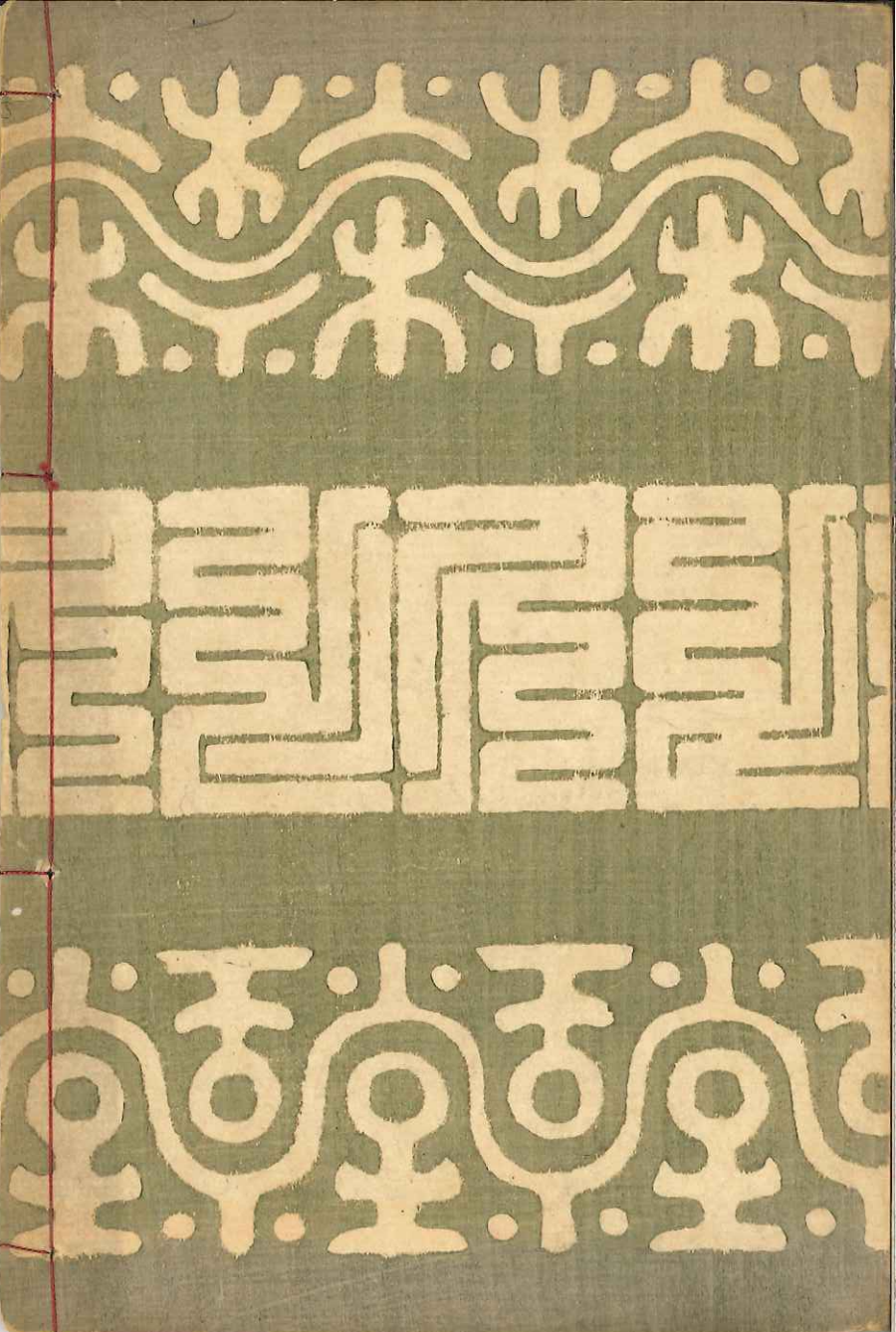
三都妖婦傳 中本袋入 三編出板 四編五編刷刻 笠亭仙果作 一陽齋豐國画

花紅葉解脫絹川 一名新さらの物語 三冊ゝみ切 好文作 國芳画

御誂染逢山鹿子 六編揃 種彦作 豐國画

薄紫宇治曙 柳下亭種員作 一壽齋國貞画 七編八編

御伽譚博多新織 四編五編六編 好文作 國芳画

仙女香 一包四十八銅 京 坂本氏

八犬傳後日譚 四編五編六編出板 爲永春水作 一勇齋國芳画